

乳癌 進行・再発 2nd・3rd Line T-DM1療法

()コース目

患者ID : @PATIENTID

患者氏名 : @PATIENTNAME

身長 (cm)	体重 (kg)	体表面積 (m ²)
\$HEIGHT01_Doc	\$WEIGHT01_Doc	#VALUE!

投与スケジュール : 1コース 21日

使用薬剤 : トラスツズマブ エムタンシン : トラスツズマブエムタンシン (1V : 100mg, 160mg)

※ 投与前～投与中の心機能異常に要注意

※ 1コース目はday1, 8, 15に血小板数及び肝機能検査値 (AST, ALT, 総ビリルビン) のモニタリングを行うこと。2コース目以降は各コースのday1にモニタリングを行うこと。

※ Infusion Reaction に要注意

投与中又は**投与開始後24時間以内**に多く現れるInfusion reactionのうちアナフィラキシー様症状、肺障害等の重篤な副作用 (気管支痙攣、重度の血圧低下、急性呼吸促進症候群等) の発現の報告あり。

※ トラスツズマブ (遺伝子組換え) 及びタキサン系抗悪性腫瘍剤による化学療法の治療歴のある患者に投与すること。

投与量 :

薬剤	標準投与量	計算値 (mg)	投与量 (mg)
トラスツズマブエムタンシン	3.6 mg/kg	#VALUE!	

<< タイムスケジュール : 開始時刻 >>

※記載している時刻は例です。当日の投与予定時刻ではありませんのでご注意ください。

day1 6月11日 (木)

0時00分 ① 生理食塩液 50mL

血管確保用で速度適宜にて点滴静注

0時15分

② 生理食塩液 250mL + トラスツズマブエムタンシン mg

0.2又は0.22µmのインラインフィルター一体型輸液セットを使用する

90 分かけて点滴投与

0.00 ml

(初回投与時は90分。90分で問題なければ60分⇒30分と変更可)

1時45分 ③ 生理食塩液 50mL

フラッシュ

REFERENCE

Sunil Verma, M.D., David Miles, M.D., Luca Gianni, M.D., et al
Trastuzumab Emtansine for HER2-Positive Advanced Breast Cancer
N Engl J Med 2012 ; 367 : 1783-91

2014年5月度化学療法プロトコール審査委員会承認 : 2014年5月12日